

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374900328
事業所名	グループホーム あいわ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	比較的元気な利用者が多く、地域の祭りや運動会にはほとんどの利用者が参加している。 様々なボランティアの来訪があり、ハーモニカをはじめとした楽器の演奏や歌、編み物、マッサージ等のボランティアある。夕方からは“見守り”のボランティアが来訪し、利用者と夕食を共にしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年間6回、偶数月に運営推進会議を開催している。 年間の開催予定を会議メンバーと家族に知らせており、市・介護福祉課の担当者、地域包括支援センター職員、民生委員等の参加はあるが、家族の参加は少ない。 次年度は、積極的に家族の参加を要請していく方針である。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議には、ほぼ毎回、市・介護福祉課の担当者、地域包括支援センター職員の参加があり、ホームの状況を把握し、適切な情報提供がある。 市・介護福祉課からは、様々な職員が会議に参加しており、ホームと行政との連携を強固なものとしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	頻りにホームを訪れ、利用者を連れて外出する家族がいる。一方で、約半数の家族は遠方に居住し、ホームを訪れることは稀であり、運営推進会議への参加もない。 キーパーソン自身（利用者の兄弟等）の高齢化もあり、自動車免許の返上等が“足の遠のく”原因ともなっている。隔月にホーム便りを発行し、足の遠のいている家族にもホームの状況と利用者の近況を知らせている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎		